

岡谷商議所セミナー

マイナンバー制度 安全管理など学ぶ

70事業所から参加

岡谷市の岡谷商工会議所は11日、国が来年1月に運用開始を計画する「マイナンバー制度」を学ぶセミナーを岡谷



商工会館で開いた。写真。市内外の約70事業所から総務や

人事担当者らが参加。国民一人一人に割り当てられる12桁の個人番号の安全管理や企業内での準備について説明を受けた。

特定社会保険労務士の山本亨さん(48)は塩尻市が講師。マイナンバーは当初、社会保険と納税、災害の3分野の行政手続きで利用し、企業は健康保険や源泉徴収票作成などで従業員のナンバーを把握する必要があることを説明した。その上で「従業員に制度を事前に説明し、市町村から送られる通知カードを厳重に保管するよう呼び掛けてほしい」と助言した。

目的外利用や第三者への提供が法律で原則禁止されていることにも触れ、職場外への持ち出しや机上での放置など、情報漏えいにつながる行動に注意を促した。